

ふくい街角景気速報

(令和4年8月分)

調査期間 令和4年8月19日～26日 (回答率：96%)

概況

景気の現状判断DIは47.7となり、前月と比べ2.1ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは45.6となり、前月と比べ5.5ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 47.7 (前月比 +2.1)

○家計動向関連では、前月に比べ 2.0 ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ 2.2 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 2.1 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○引き続き新型コロナの感染拡大はあるものの、うまくやりくりして旅行等に行きたいという考えも増えている。緩やかな回復傾向が続くのではと考えている。(観光関係)

○コロナ渦の中で通常に戻りつつの部分があるが、原料高騰、為替の影響もあり平行線である。(繊維関連)

■景気の先行き判断DI 45.6 (前月比 +5.5)

○家計動向関連では、前月に比べ 5.6 ポイント上昇した。

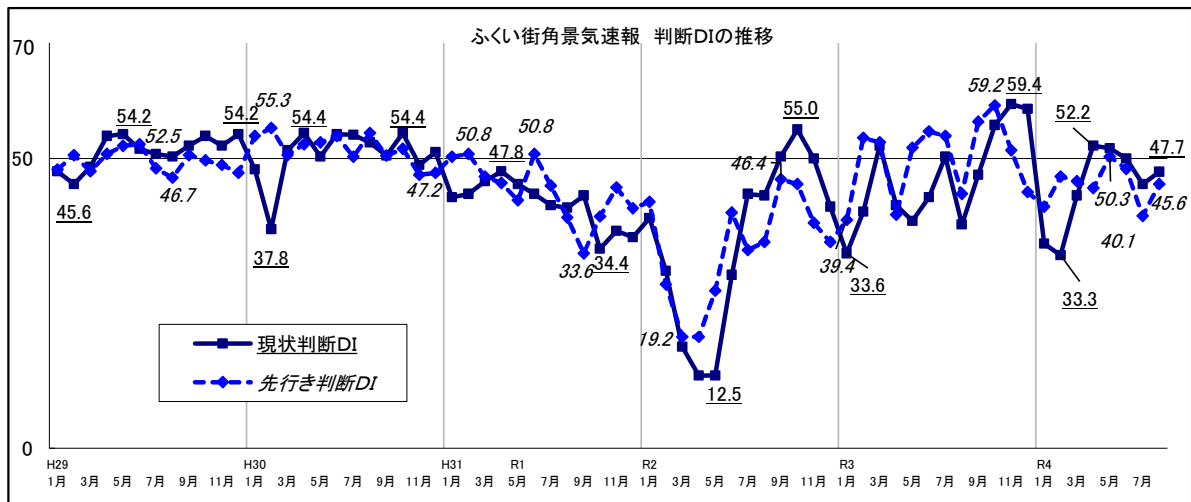
○企業動向関連では、前月に比べ 4.2 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 8.3 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○商品の価格改定(値上げ)が続き、コロナの収束も見えないので今しばらく大きな回復はないと予想している。(一般小売店)

○新型コロナウイルスの感染再拡大の動きに加え、ウクライナ情勢の長期化に伴う供給制約や製商品の値上げ、原材料費の高止まりの影響を受け、当面、個人消費は本格的に回復しないと思われる。(化学・プラスチック関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R4 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		43.6	52.2	51.8	50.0	45.6	47.7	+2.1
家計動向関連		42.0	56.3	55.5	55.5	43.9	45.9	+2.0
小売		39.5	54.7	53.1	50.0	39.1	40.3	+1.2
飲食		58.3	70.0	62.5	66.7	50.0	50.0	+0.0
サービス		45.0	54.5	58.3	64.6	54.2	58.3	+4.1
企業動向関連		43.6	45.5	45.6	45.1	47.1	49.3	+2.2
製造業		40.4	45.0	48.0	48.1	46.2	47.0	+0.8
非製造業		52.8	46.9	38.9	37.5	50.0	55.0	+5.0
雇用関連		50.0	54.2	54.2	40.9	47.9	50.0	+2.1

○回答別構成比

	年 月	R4 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなっている		1.1%	3.2%	2.1%	4.1%	1.0%	2.1%	+1.1
やや良くなっている		18.9%	28.0%	30.2%	25.8%	25.0%	22.9%	▲2.1
変わらない		44.4%	44.1%	43.8%	40.2%	35.4%	43.8%	+8.4
やや悪くなっている		24.4%	23.7%	20.8%	25.8%	32.3%	26.0%	▲6.3
悪くなっている		11.1%	1.1%	3.1%	4.1%	6.3%	5.2%	▲1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R4 3	4	5	6	7	8	(前月差)
合計		46.1	44.9	50.3	48.2	40.1	45.6	+5.5
家計動向関連		48.3	48.4	52.5	53.5	38.8	44.4	+5.6
小売		46.8	44.5	49.2	46.1	35.9	41.1	+5.2
飲食		33.3	55.0	54.2	62.5	50.0	54.2	+4.2
サービス		57.5	56.8	60.4	68.8	41.7	47.9	+6.2
企業動向関連		41.4	39.4	47.8	42.4	42.9	47.1	+4.2
製造業		43.3	38.0	49.0	43.3	43.3	46.0	+2.7
非製造業		36.1	43.8	44.4	40.0	41.7	50.0	+8.3
雇用関連		52.3	45.8	47.9	43.2	37.5	45.8	+8.3

○回答別構成比

	年 月	R4 3	4	5	6	7	8	(前月差)
良くなる		2.2%	4.3%	4.2%	8.2%	0.0%	1.0%	+1.0
やや良くなる		25.6%	20.4%	24.0%	29.9%	14.6%	18.8%	+4.2
変わらない		37.8%	32.3%	44.8%	28.9%	40.6%	44.8%	+4.2
やや悪くなる		23.3%	36.6%	22.9%	26.8%	35.4%	32.3%	▲3.1
悪くなる		11.1%	6.5%	4.2%	6.2%	9.4%	3.1%	▲6.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	家計動向	福井	サービス業関連	夏休みで学生などの利用が増えた。
②やや良くなっている	家計動向	福井	商店街	昨年比及び3ヵ月前と比較して、人の動きも出てきている。コロナも状況は変わらないが、意識も薄れて、動き出している。
		坂井	スーパー	コロナは再拡大しているものの、必要以上の警戒心は無くなってきておりアウトドア商品などの売上は好調。
		嶺南	観光関係	引き続き新型コロナの感染拡大はあるものの、うまくやりくりして旅行等に行きたいという考えも増えている。緩やかな回復傾向が続くのではと考えている。
	企業動向	坂井	一般機械関連	製造業の業界が全体的に設備投資が前向きになってきた。
		福井	運輸関連	荷動きが若干ながら回復しているように思う。
雇用	福井	学校就職担当者	高校生の求人数が昨年に比べ多くなっている。	
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	来店客数、売上ともに昨対比において大きな変化はなく、コロナ感染者数も減らないので回復の兆しも見えない。
		福井	百貨店、SC等	前年より売上は改善傾向ではあるが、景気が良くなっているとはいえない。
		嶺南	スーパー	旧盆の帰省もあり売上は増加しているが、日頃の販売状況としては「衝動買いの減少、必要なものだけを買う」傾向が強く、買上げ点数は伸び悩んでいる。お中元等の進物の動きも鈍かった印象。
		福井	サービス業関連	売り上げに大きな変化が見られないため。
		福井	観光関係	新型コロナ感染拡大の高止まりが続いているから。
	企業動向	坂井	繊維関連	コロナ渦の中で通常に戻りつつの部分があるが、原料高騰、為替の影響もあり平行線である。
		丹南	電気機械関連	一部、通信関連では回復傾向にある。一方で半導体不足の長期化、中国ロックダウン等の世界情勢影響は未だ継続しており、先行きの不透明感が強まっているため。
		福井	化学・プラスチック関連	新型コロナウィルスの感染再拡大の動きに加え、半導体不足やウクライナ情勢の長期化に伴う供給制約、物流費や原材料費高騰等の影響は大きく、引き続き厳しい状況が続く。
		丹南	建設・不動産関連	受注・売上ともに大きな変動はない。
	雇用	丹南	労働相談員	コロナ感染拡大に懸念材料はあるが、相談内容に変化は無い。
嶺南		学校就職担当者	企業による新卒求人が減っているわけではない。	
④やや悪くなっている	家計動向	丹南	商店街	7月に引き続き、来店数・売上は低迷している。昨年の同時期よりも悪いという印象。
		福井	百貨店、SC等	様々な値上げの影響等を受け、食品全般が厳しい状況。
		丹南	百貨店、SC等	物価高や資材不足に加え、電気代の高騰と新型コロナの感染拡大等があり、普段通りの生活には程遠い環境となっている。
		奥越	百貨店、SC等	今回の旧盆も帰省控えによる影響なのか、客数減。コロナも収束が見えない。
		坂井	観光関係	コロナの感染者数が爆発的に増加し第7波になっているため、予想通りの来場者数にはなっていない。
	企業動向	丹南	眼鏡関連	材料費や燃料費(電気、ガソリン等)の値上がりや価格に転嫁しづらいため、利益率が落ち込んでいる。
嶺南		商社	コロナの影響と原料高。	
⑤悪くなっている	家計動向	坂井	観光物産関係	3ヶ月前はGW後も人の移動があり商品も動きがあったが、コロナや災害等で人の移動のわりには商品の動きが鈍いため。
	企業動向	丹南	電気機械関連	電子部品調達困難、円安による為替差損の増大。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	福井	商店街	規制も解除され、お盆の人流も増し、この傾向は続くと思う。
		福井	スーパー	10月以降の最低賃金上昇や社会活動の正常化(コロナ禍の影響)により、経済活性化、回復の流れを期待するため。
		嶺南	観光関係	国内需要の回復は勿論、日本が遅れていると言われて久しい入国者に対する水際対策の緩和などが功を奏して、11月頃からインバウンド旅行者の利用が拡大するものと考えている。
	企業動向	嶺南	化学・プラスチック関連	コロナ禍であっても人・ものの動きがある。
		福井	建設・不動産関連	感染症予防も常態化し、平常を取り戻す方向になっていくと思われる。
③変わらない	家計動向	福井	一般小売店	商品の価格改定(値上げ)が続き、コロナの収束も見えないので今しばらく大きな回復はないと予想している。
		嶺南	一般小売店	物価が少しずつ上がってきてるので、買い控えが起きる可能性がある。
		福井	百貨店、SC等	ウクライナ紛争が先行きが見えず原油等のコスト高は変わらないと考える。またコロナ急増に関しては未だピークの先行きが見えない。
		坂井	観光物産関係	コロナによってお土産の買い控えになっている様な気がするため。
		福井	観光関係	第7波の状況次第ではあるが、現状まだ高止まりの傾向にあり、回復には2ヶ月程度かかるとみられる。また、宴会場利用などはキャンセルも出ており、影響は大きい。
	企業動向	坂井	繊維関連	良くなっている部分もあるが、まだまだ原料、為替等不透明なところも多いため。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、半導体不足や上海ロックダウンによる部品供給問題やウクライナ情勢により若干の受注減少はあるものの、高水準の受注が暫く続く見通し。
		福井	化学・プラスチック関連	新型コロナウイルスの感染再拡大の動きに加え、ウクライナ情勢の長期化に伴う供給制約や製商品の値上げ、原材料費の高止まりの影響を受け、当面、個人消費は本格的に回復しないとされる。
		嶺南	食料品製造関連	コロナ感染者が増加し、消費者の動きが鈍い。
		福井	運輸関連	不確定要因が多く、先が見通せない。
	雇用	嶺南	労働相談員	労働相談件数もここ数か月横ばいで推移しており、労働相談からの観点から、今後の景気は変化しないと考える。
		福井	ジョブカフェ担当者	新型コロナウイルス感染症の再拡大(第7波)による全国的な新規感染者数の増加や、長引く物価高騰や円安の影響で、急激に景気が回復するとは考えられないため。
	④やや悪くなる	家計動向	福井	一般小売店
福井			百貨店、SC等	物価高の影響で消費節約志向がさらに強くなる可能性がある。
福井			スーパー	社会全体の商品値上げが緩やかになる可能性はあるが、消費自体は冷え込むと思われる。
嶺南			飲食関連	嶺北の豪雨被害、連日の暑さで農作物がどのくらい悪影響を受けるか予想すると、またさらに物価が上がり、農作物が不足しそう。
奥越			飲食関連	コロナで従業員が足りなくなったりすると営業出来なくなる恐れもあるし、流石にこれだけ感染者が出ていれば外出も控えるのではないかと思う。
企業動向		福井	商社	一層のコロナ蔓延と原油価格の再高騰が予測される。
		丹南	食料品製造関連	新型コロナが増えてきており先行きが予想できず心配している。
		福井	銀行等金融関連	陽性者の大幅な増加が対面型サービス業を中心に影響していくことが懸念され、注視が必要。また多くの企業は仕入れ値の大幅な上昇に直面しており、価格交渉に弱い中小企業などはコスト転嫁できず厳しい状況になると懸念される。
雇用		丹南	自治体労働政策担当課	燃料高騰・物価上昇のほか、コロナ感染症も終わりが見えない中、最低賃金がかかるなど更に経費増大することで、積極的に投資していこうとするマインドにならない。
⑤悪くなる	家計動向	嶺南	商店街	物価上昇は更にその数が増加、消費税や自動車税の減税も全く検討もされる様子もない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)